

新任任期付校長インタビュー



堺市立野田中学校長

田中 一弘

大阪府内公立学校長勤務
等を経て、
令和8年4月から現職

令和8年4月に堺市の任期付校長に採用された田中校長に、採用後1か月の感想を聞きました。(令和8年5月13日取材)

これまでの校長経験を生かして

経験の少ない教員はもちろん、ベテランであっても絶えず向上心を持ち、常に勉強しながら授業力向上をめざしていくことが必要であると考えています。ただ、教員は稼業時間中絶え間なく生徒と向き合っているので、落ち着いて学ぶ機会が必要ではないかと思います。

教員の研修に対する前向きな思いを実現するためには、2、3学期に専門家の先生に助言をいただける場を設定したいと考えています。教員の良いところを伸ばし、苦手なところ専門家の先生や学年の同僚性で補い合い、しっかりと自信をつけていってほしいと願っています。

一小一中そして近距離の利点を生かして

学校群の中学校区は一小一中となり、また2校の距離も近いことを生かし、積極的な授業見学や情報交換の声が上がっています。群内小学校の

校長と連携し、学力向上や人権教育等の5つの分野に分かれ、それぞれが情報交換する中で、小学校で学んだことを中学校で生かしたり、中学校の専門性を小学校に知っていただいたりする場を設定しています。

エリアを住みよい街に

地域の会議も大切にしています。自治会の定例会では、中学校の情報を積極的に発信し、逆に地域の貴重な情報を持ち帰るようにしています。また、防犯委員の会議の場では、次世代を担う3、40代の皆さんが保護司などの地域の役員に積極的に登用されており、エリアを住みよいまちにしたいという防犯組織の高さが伝わってきました。学校としても保護者世代である皆さんと共に、地域にある学校として支えていきたいです。

初任者を育てる仕組みを大切に

初任者の皆さんは、まずプランニングに苦勞します。所属する学年内外に相談者がいることで、学年を超え寄り添った指導助言ができ、また、心理的負担の軽減も図れることを期待しています。初任者には初任者担当教員が助言や相談できるよう体制を整え、担当者が初任者だったころにどのようなことに困っていたのか、その頃を思い出し、伴走しながら初任者を育てる意識が大切です。ぜひ、この一年で大きく成長してほしいです。

応募を考えているみなさんへ

堺にはまだまだ十分周知されていない魅力があります。堺にしかないものもあり、そして堺には古くからの歴史もあります。様々なところでまだまだ新しい発見がある。そんな未来のある堺に力を貸していただきたいです。